

令和元年度 家庭教育に関する保護者調査 結果概要

I 回答者のプロフィール

- ・ 回答者は、県内の幼稚園・保育園の年長児の保護者が 25.6%、小学校 2 年生の保護者が 22.4%、小学校 6 年生の保護者が 25.9%、中学校 3 年生の保護者が 24.3%である。
- ・ 回答者の内、母親が 92.5%、父親が 4.8%、祖父母他が 0.6%である。(P4 参照)

II 家庭教育に関する状況や考え方について

子供と関われる時間の有無

- ・ 86.5%の保護者が、「子供と関われる時間が十分にある」、「まあまあある」と感じている。反対に、関われる時間がないと感じている保護者が 11.1%いるという状況がみられた。(P5 参照)

子供に身に付けさせたいこと

- ・ 「思いやりやいたわりの心」が 59.4%と最も多く、次いで「約束やルールを守ること」、「あいさつや返事、言葉づかい」、「基本的な生活習慣」を身に付けさせたいと考えている保護者が多い。(P6 参照)

家庭教育（子育て）で心掛けていること

- ・ 「コミュニケーションをとること」が 66.9%と最も多く、次いで、「子供の生活習慣をしっかりとサポートすること」、「家族で過ごす時間を大切にすること」を心掛けている保護者が多い。(P7 参照)

家庭教育（子育て）の自己評価

- ・ 58.9%の保護者が「必要なことはきちんと教育できている」、「足りない部分もあるが、教育できていることが多い」と答えている。(P8 参照)

家庭教育（子育て）に関する悩みや不安

- ・ 悩んだり不安になったりすることが「よくある」、「時々ある」と回答した保護者は 55.7%であった。(P9 参照)
- ・ 悩みや不安のある保護者のうち、50.9%が「しつけの仕方がわからない」、47.0%が「子供の気持ちがわからない」と答えている。(P10 参照)

III 家庭教育支援に関すること

家庭教育（子育て）に関して相談できる人

- ・ 91.9%の保護者が相談できる人がいると答えており、相談できる人は、「配偶者」、「親や兄弟姉妹など身内」、「友人・知人」が 80%を超えている。(P12 参照)
- ・ 相談できる人がいないと答えた保護者は、「気軽に相談できない」、「相談できる人が周りにいない」ことを理由に挙げている人が多い。(P13 参照)

家庭教育（子育て）の情報収集源

- ・ 「友人・知人から」情報や知識を得ている保護者が 81.9%と最も多く、次いで、「親や兄弟姉妹など身内」、「園や学校」、「インターネット」から情報を得ている状況がみられた。(P14 参照)

学習機会への参加について

- ・ 34.7%の保護者が学習機会への参加を希望しており、反対に、62.7%の保護者は参加したいと思っていない。(P16 参照)

希望する家庭教育（子育て）に関する学習内容

- ・ 「子供の自立心、社会性、道徳性の育て方」についての内容を希望している保護者が59.5%と最も多く、次いで「子供同士の関わり（トラブルの対応等）」、「子供のほめ方・叱り方」が多くなっている。（P17 参照）

地域で必要な家庭教育（子育て）支援

- ・ 地域の必要な支援として、「子供が安心・安全に過ごせる場所」（63.6%）、「子供と一緒に体験、交流できる講座や研修会」（49.8%）を挙げている。（P18 参照）

IV 子供との会話、生活習慣のルールづくり、スマートフォン等に関すること

子供との会話

- ・ 90.3%の保護者が、子供との会話が「できている」（41.9%）、「大体できている」（48.4%）と答えている。（P20 参照）
- ・ 会話ができていると答えた保護者のうちの64.7%が「仕事が忙しく、時間がない」を理由として挙げている。（P21 参照）

生活習慣のルール

- ・ 76.5%の保護者が子供とルールを決めており、決めていないのは17.7%であった。（P22 参照）
- ・ 決めているルールは、「就寝・起床・帰宅の時刻」、「あいさつや礼儀」、「宿題や学習をする時間」に関することが多い。（P23 参照）

スマホ・ネットで保護者がすべきこと

- ・ 「子供とスマホの使い方についてよく話し合い、ルールをつくる」べきだと考えている保護者が73.2%と最も多い。次いで、「スマホ・ネットについての利用方法やリスクなど詳しい知識を持つこと」が54.8%と多い状況であった。（P24 参照）

スマホ・ネットの学び方

- ・ 「学校から配付される啓発資料などで学びたい」と考えている保護者が43.8%と最も多く、次いで、「保護者同士の仲間や友人から学びたい」、「学校やPTAが実施する講座・研修会に参加したい」の順となっている。（P25 参照）

スマホ・携帯電話の使用について

- ・ 園の年長児の42.0%がスマホ等を使用しており（家族のものも含む。）、年々子供のスマホ等の使用開始時期が早まっている傾向にある。学年が上がることに使用の割合が高くなり、中学3年生では80.0%が使用している状況がみられた。（P26 参照）

スマホ等によるネット利用のルール

- ・ 「利用する時間・時間帯」についてのルールを決めている家庭が72.5%と最も多く、次いで「アプリ等のダウンロードは保護者が確認すること」が多い。
- ・ 「SNSの利用の仕方」、「利用料金」、「困ったことがあったら、保護者に相談すること」については学年が上がるにつれて、ルールを決める家庭が増加している。（P27 参照）